

学校教育目標：よりよく生きぬく力《たくましい子・考える子・思いやる子》

# 釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO3  
6月号 令和5年 5月30日(火)  
校長 山田 隆二

## 体育発表会を終えて

令和5年度の体育発表会スローガンは「心をつに 全力を出して楽しみ 思い出に残る体育発表会にしよう」でした。今月中旬に転校生を迎え72名の子供たちは本当に一生懸命演技や競技の練習に取り組みました。高学年の係会では一人一人の役割分担を理解し、それぞれの競技や演技を「成功させたい!」という心をつに、責任を果たしました。また、全校の一人一人が各学年の競技や演技にも自分の出せる「全力」で取り組むことができました。一人一人が自分の力を出し切ることによって、閉会式では体育発表会スローガンを達成することができたと実感した子がほとんどでした。よい思い出になったと喜んでいきます。私は、長い間マスクをして生活していた子供たちが、マスクを外して、大声を出して思いっきり「ゴー!ゴー!ゴー!」を歌う姿を見ているだけで感動を抑えることができませんでした。



5月8日には新型コロナウイルス感染症が第5類になりましたので、徐々にではありますが、地域に開かれた釜戸小学校にしていきたいと思います。体育発表会では、保護者様の参観はもちろん、今年は岐阜県議会議員さん、瑞浪市議会議員さん、大湫町、釜戸町の区長会長さん、学校運営協議会長さん、まちづくり推進協議会会長さんに来賓としておいでいただきました。これからも地域の方においでいただけるようにしていきます。

子供たちの演技では、各学年の発達段階に応じて楽しみながら一生懸命に練習した演技が光りました。1、2年生の「わたしは 最強!」、3、4年生の「釜小バサラ2023」、5、6年生の「意気軒高! ~Super Soran~」どの学年も完成度が高く、練習の成果が発揮されました。それぞれの児童は上級生の演技にあこがれの気持ちをもって目に焼き付けたことでしょう。「来年はバサラやりたーい!」という2年生の言葉が印象的でした。

子供たちは、この大きな行事を通して「自分からめあてに向かう気持ち、あきらめない気持ち」「草取りを一緒にやってくださった地域の方や、係会で活躍してくれた上級生に感謝し、ありがとうの気持ちを伝えること」「仲間と力を合わせること」などを学びました。本当に素晴らしい子供たちでした。赤団、白団どちらにも心から拍手を送りたいと思います。

体育発表会後の片付けでは、多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。

